



大阪科学・大学記者クラブ 御中

平成 28 年 11 月 15 日
大阪市立大学

Hot & Unique ゼミ活動ご紹介

商・山田ゼミ

大阪市立大学×(株)サイバーエージェント “新しい採用の仕組み”について考える

大阪市立大学商学部・山田 仁一郎教授が担当するプロジェクトゼミナール（2年生6人、3年生6人、4年生1人受講中）は、平成28年11月18日（金）～20日（日）の3日間、株式会社サイバーエージェントより人事管轄技術職採用シニアマネージャー小澤 政生（おざわ まさお）氏を招き、「地方採用に革命を起こす」をテーマに集中ワークショップを行います。

プロジェクトゼミナールは、実際に企業が抱えている課題を取り上げ、学生が調査分析や議論を行い、解決策を提案するものです。

今回の集中ワークショップでは、新たな地方採用を模索中の株式会社サイバーエージェントの現状と課題について小澤氏より説明を受けたあと、グループワークに取り組み、最終日の11月20日（日）には、優れた地方人材を採用するための「新しい採用の仕組み」について学生がプレゼンテーションを行います。

採用する側と採用される側のそれぞれの思いがぶつかり合ったときに何が生まれるのか、これまで多くの企業、企業人を見てきた山田教授のコーディネートぶり等、大阪商業講習所を源流とする大阪市立大学商学部ならではの取り組みをご覧ください。

ご取材をご検討いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



(株)サイバーエージェント 小澤 政生氏



株式会社サイバーエージェント

1998年設立。インターネット広告事業、Amebaをはじめとするメディア事業を主とする企業。「実力主義型終身雇用」の確立を目指し、マルチエントリー採用など、ユニークな採用方法で注目されている。

<概要>

採用は、その企業がどのような戦略を持つのか、人材評価に対してどのように考えているのかが垣間見ることができるものです。少子高齢化とグローバル化が進むなかで、労働市場は急速に変質しています。採用の問題は、企業・大学そして学生にとっても社会の中心的な関心事の1つとなっています。良質な人材の育成は、大学の使命であり、その評価と活用は企業組織の死活問題であると同時に、地域社会にとっての長期的な基盤にも関わっているのです。

本プロジェクトゼミナールは、学生たちが受け身で採用をとらえるのではなく、課題を考え抜くことで、グローバル化する地域社会における企業組織や人間の成長や価値を分析し、見据えるようになることを教育上の大きな目的としています。

まず、学生の目線からだけでなく、雇う企業の採用側の目線と双方向で急速に広がるインターンシッ



事前セッションの様子

ブ活動を含む採用制度と実践について考えます。さらに「良い採用」とは何か、「人材の選抜」の仕組みはどうなっているのか、といった調査課題に取り組み、最終的に自分たちで採用の仕組みを提示します。なかでも、今回は「地方の採用」を中心的に取り上げます。

受講生はこれまでの間、課題図書として服部泰宏氏（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院准教授）の話題の書『採用学』（2016、新潮社）を輪読し、いろいろな企業のインターンシップについて調べてきました。今回の集中ワークショップではこれまでの研究、調査で得た知識も最大限生かします。

<集中ワークショップについて>

開催日：平成28年11月18日（金）～20日（日）

場 所：大阪市立大学杉本キャンパス商学部棟2階 BRCゼミ室

◆11月18日（金）

17：00～17：05 オープニング（山田教授より）

17：05～17：40 会社紹介、概要オリエンテーション（小澤氏より）

17：40～19：00 ワーク

◆11月19日（土）

10：00～11：00 ワーク

11：00～12：00 中間プレゼン

13：00～18：00 ワーク

◆11月20日（日）

10：00～12：00 ワーク

13：00～15：00 ワーク、プレゼン準備

15：00～17：00 最終プレゼン、結果発表、各チーム個別フィードバック

17：30～ 総括、記念写真撮影、表彰式

<商学部・山田ゼミナールについて>

山田仁一郎教授の専門はアントレプレナーシップ論、経営戦略論、組織論、ガバナンス論。著書には単著に『大学発ベンチャーの組織化と出口戦略』（2015、中央経済社）、主な共著には『アントレプレナーシップ入門』（2013、有斐閣）等がある。ゼミナールでは、学部生が大阪の中小企業の新事業創造とイノベーションや、日本企業のガバナンス戦略を取り上げ、フィールドワークやインタビュー調査などを行い、活発な研究をしている。

<本取り組みについて>

本取り組みは、文科省のサポートによる「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（通称、現代GP）」に起源があり、継続しているものです。これまでもプロジェクトゼミナールでは大阪を中心とした企業が抱えている課題を取り上げ、議論を行ってきました。大学で学んだ知識や理論と日頃の問題意識やこれまで培ってきた感性をすべて動員して、企業社会が直面する課題を解決しようとする情熱と論理を大切にしています。調査活動を行うだけでなく、協力企業や組織に対するフィードバックまでを学生が主体的に責任をもって取り組むことが重要だと考えており、大学教員や大学院生がサポートして実施しています。企業や地域社会の方々との連携を広げていくことによって、大学教育の高度化を期しています。

【本件に関するお問合せ先】

大阪市立大学商学部 教授 山田 仁一郎

TEL：06-6605-2228

E-mail：yamada@bus.osaka-cu.ac.jp

【報道・取材に関するお問合せ先】

大阪市立大学法人運営本部広報室 担当：西上

TEL：06-6605-3411

E-mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp